

Passage Dance

The Future of Wild Nature vol.5

**The International Passage Festival
for New Arts and Society
1994.7.28~7.31 STUDIO ams**



Let no man who is not a mathematician read the Elements of my work.

Agnieszka Edwards

Bernard Deane-Armstrong

HALOCHE LAURENCE**Margarida Morini+CHRIS VINE**

Jennifer Wimborne

Marega Palser

Francoise IMBERT

Tim Weatherhead

Dymphna D'Arcy

Charlie Jeffries

Roueida Ghali

Ray Baskerville

森脇 ゆり

大迫 尚子

江ノ上陽一

柴崎 正道

岩切九美子

福原 哲郎

多田 正美

中尾 幸世

塩原 卓

■ 会期：7月28日(木)～31日(日)

■会場：スタジオ a m s (新玉川線・世田谷線、「三軒茶屋駅」下車)

■料金(プログラムA~F):前売り・予約=2,200円/当日2,500円
(3回券)=5,000円(当日受付発売)

■料金(トーク&映像ショー):当日のみ=1,000円

■チケット取扱い:チケットぴあ=03-5237-9988

■予約・問合せ:ポティサットヴァ文化研究所=0423-25-7614(PM12~PM7)
スタジオams=03-3413-1111(代表)

■共催:スタジオams/ボディサットヴァ文化研究所

■後援：ブリティッシュ・カウンシル/東京日仏学院

■プログラムディレクター：福原哲郎



三軒茶屋

〒154 世田谷区太子堂4-24-8
TEL03(3413)1111(代表)



The British Council



Program

A 7月28日(木) 7:00PM~8:30PM
 (1) アグネシカ・エドワーズ (ポーランド) 『白日夢』
 (2) 森脇ゆり 『立ち昇る石の記憶』
 (3) バーナード・ディーン・アームストロング (イギリス) 『鏡の中の永遠』

B 7月29日(金) 7:00PM~8:30PM
 (1) アロシェ・ロバンス (フランス) 『オブソレスコール』
 (2) 福原哲郎 + 多田正美 + 中尾幸世 『神話力』
 (3) マルガリーダ・モリニ (ブラジル) + クリス・ヴィネ (イギリス) 『トラレシア』

C 7月30日(土) 2:00PM~3:30PM
 (1) マレーガ・バルサー (イギリス) 『ボディスーツとスリッパ遊び』
 (2) 大迫尚子 『未来シグナル』
 (3) チャーリー・ジェフレ (イギリス) 『曖昧な波』

【トーク&映像ショー〈国際会議〉】 4:15PM~5:45PM
 ——『現代ダンスの変容—パサージュ論』——

〈司会〉福原哲郎 (舞踏家) + ジョエル・ペロン (アーティスト・カナダ)
 フランソワーズ・インベル (パリ第8大学教授・舞踏家・フランス) + レイ・バスカービル (舞踏家・イギリス)
 ディンナ・ダルシ (舞踏家・イギリス) + ル・エイダ・ガリ (舞踏家・レバノン)
 柴崎正道 (舞踏家) + その他

D 6:30PM~8:00PM
 (1) ジェニファー・ウィンボルネ (イギリス) 『装置と装置』
 (2) 柴崎正道 『なまりの兵隊』
 (3) ディンナ・ダルシ (イギリス) 『ゼロの変化』

DANCE. 野生の未来 vol.5

E 7月31日(日) 3:00PM~4:30PM
 (1) ティム・ウェザーヘッド (イギリス) 『詩とダンス—アイルランド』
 (2) 江ノ上陽一 『原初のマザー』
 (3) フランソワーズ・インベル (フランス) 『身の寄せ所』

F 6:00PM~7:30PM
 (1) ル・エイダ・ガリ (レバノン) 『影』
 (2) 岩切九美子 『ニール・ファイト』
 (3) レイ・バスカービル (イギリス) 『見えないパサージュの方へ』

※ 事情により出演者変更の場合があります。

SERIES "PASSAGE DANCE" THE FUTURE OF THE WILD NATURE

DATE: July. 28 (Thu.) - 31 (Sun.) (For Four days) PLACE: studio ams (ams Seibu-sangen jaya 5F) Phone: 03(3413)1111 <NEW TAMAGAWA-LINE SANGENJAYA-station>
 TIME: (Program A) = 7:00pm~8:30pm (program B) = 7:00pm~8:30pm (program C) = 2:00pm~3:30pm (program D) = 6:30pm~8:00pm (program E) = 3:00pm~4:30pm (program F) = 6:00pm~7:30pm TICKET: (program A~E) advance reservation 2,200yen on the day 2,500yen three through ticket 5,000yen on the day. (talk & video show) 1,000yen on the day.
 RESERVATION INQUIRES: Bodhi Sattva = Phone 0423(25)7614 / studio ams = Phone: 03(3413)1111 TICKET SALE: Ticket PIA / Phone 03(5237)9988

【募集項目】

〈舞踏ワークショップ—応用編—(20名募集)〉

(この内、合宿形式の参加者を10名募集。希望者はスタッフとしても起用。)

(場所) = 桐生市「有鄰館」 / (期間) 8月3日水~8月5日金 / 8月10日水~8月12日金 / (時間) = 10:00AM~12:00PM / (費用) = 全6日間15,000円 (全6日参加者優先。1日のみ3,000円) / (宿泊施設あり) / (講師) = 福原哲郎 + (海外参加者10名) / (申込み) = ボディサットヴァ文化研究所 (TEL = 0423-25-7614 / FAX = 0423-28-2903 まで)
 本公演は桐生市「有鄰館」、京都「清水寺」、京都造形芸術大学へとつづくシリーズ展開となります。



もっと別の身体(ダンス)はないのか?

身体(ダンス)は、いまだ開発されていない

PASSAGE

『未知な構築物』の創造に参加する時、

思いがけない本来の力を発揮する

21世紀芸術への分岐点。

あすからパサージュ・フェス

アーティスト集結



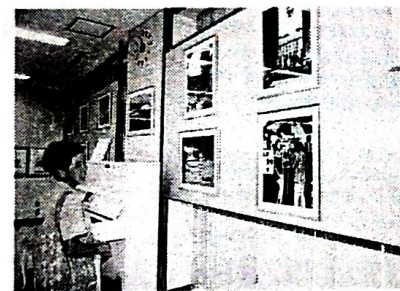
三日から有郷館ではじまる国際交流パサージュ・フェスティバル⁹⁴(ボディ・サットヴァ文化研究所、桐生実行委員会主催)に向け、海外五カ国からのダン

サーも含むアーティストたちが続々集結している。身体・感性という人間の基本から、衣服、建築、そして産業との融合を目指して都市までをよみがえらせるべく、ここから新しい総合的芸術運動の潮流を起して

いこうという実験の第一歩だ。参加者たちはまずは梅田の鳳仙寺で合宿生活をして、急ピッチでつづらけている有郷館の舞台に乗る。

壮大なプログラムを実現させる場には選ばれたのは、有郷館という自由で刺激的な場であり、さらにはファッション産業という人間の身体・感性に最も密接な劇場産業が、ハイテクやマルチメディア時代を見据えて新しい生き残りへの挑戦をしている桐生だ。何度も来桐して準備を重ねてきた企画者の福原哲郎さん(舞踏家、ボディ・サットヴァ文化研究所主宰)は加えて、「このまちで共感的な状態をもてる人たちに会えたこと」をあげる。

「芸術の問題は社会から遊離してしまった芸術の枠内だけでは解決できないし、産業も人間を疎外したままでは行き詰まる」という認識のもと、次世代へのパサージュ(フランス語で「移行」のための試みが、始まることとしているのだ。国籍も年齢、性別も違う舞踏家たちがまじりこみ桐生の布で、新井淳一さん(テキスタイル・プランナー)や坂口昌章さん(桐生TPS総合プロデューサー)が手がけている。また



有郷館の個性的な蔵群は入江経一さん(建築家、東京芸大講師)らによって、アルミ板や強化ガラスを使った不思議な空間に生まれ変わったものとしている。音楽、美術、メディアアートもコラボレーション。掛井五郎さんの男女二体の彫刻が、広場に守護神のように立てられる。

三日と七日と十日と十四日の会期中には、公演や展示のほかに、鷺田清一さん(モード批評家、大阪大学助教授)や八束はじめさん(建築家)、地元からは森山亨さん(地場産業振興センター専務理事)、掛井五郎さん(彫刻家)ら、それぞれの分野で一線をゆく人々を交えてのトークショーも土、日曜日に展開される。

桐生実行委員会(事務局

欧州3カ国で撮影
塚越さんの写真展
第一勧銀桐生支店
塚越平人さん(桐生ガス社長)の「ヨーロッパ写真展」が第一勧銀桐生支店で開かれている。塚越さんが海外旅行の際に撮影した作品の中から、スイス、イタ

リア、フランスの三カ国に材を得た十三点を展示。スイスの山岳風景や、イタリア・ピサの斜塔、モンマルトルの丘(フランス)で似顔絵を描く芸術家などに焦点を合わせ、「欧州スケッチ」を試みている「写真」。十二日まで開かれている。

入賞作品決定
4日に表彰式
わたらせ渓谷鐵道の開
五周年記念「写真コンテスト」の審査結果がこのほど発表され、最優秀賞に延

入賞作品決定
4日に表彰式
わたらせ渓谷鐵道の開
五周年記念「写真コンテスト」の審査結果がこのほど発表され、最優秀賞に延

市民から募集
「自分史」は、戦中・戦後を通して、あなたが
かかわった社会の動きや出来事、事件の中で、最
募集内容は次の通りです。

「自分史」は、戦中・戦後を通して、あなたが
かかわった社会の動きや出来事、事件の中で、最
募集内容は次の通りです。

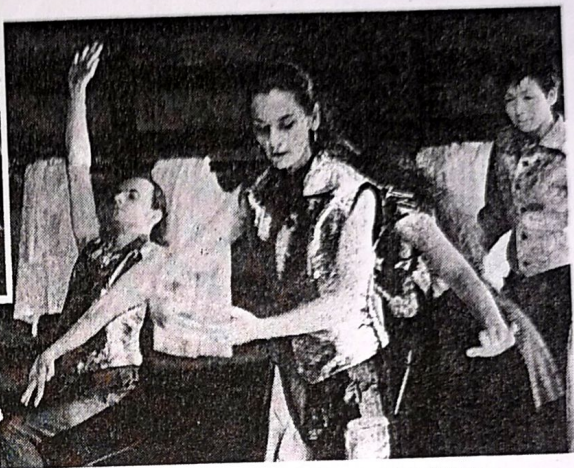
「自分史」は、戦中・戦後を通して、あなたが
かかわった社会の動きや出来事、事件の中で、最
募集内容は次の通りです。

身体の無限の可能性を見せつつ、人間の内面の創造に向かう舞踏ダンス。衣裳や建築や彫刻、音楽、メディア・アートとも「協働」しながらの、新しい総合的芸術運動として、連日有鄰館で開催されているのが国際交流パサージュ・フェスティバルだ。

記録的な猛暑の中、設備が整っているわけではない蔵群をフルに使ひ、多国籍のアーティストたちがここで汗のただけではない光を放っている。これまでの台同公演、そしてソロダンス特集からピックアップして紹介する。会期は残すところあと、あす一日となった。



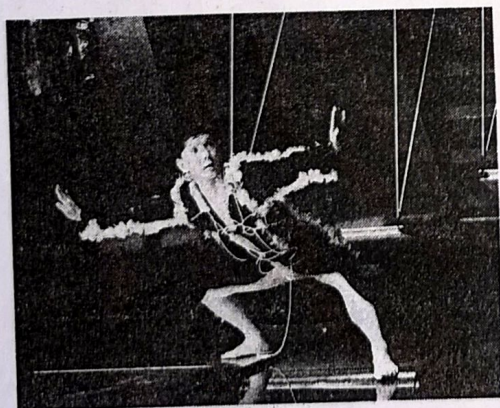
新しい総合的芸術運動の誕生を見せたメイン公演「天使的な交感」(味噌蔵で)



桐生の帯地でつくられたベストが、多国籍な身体群を輝かせる



バーナード・ディーン・アームストロング



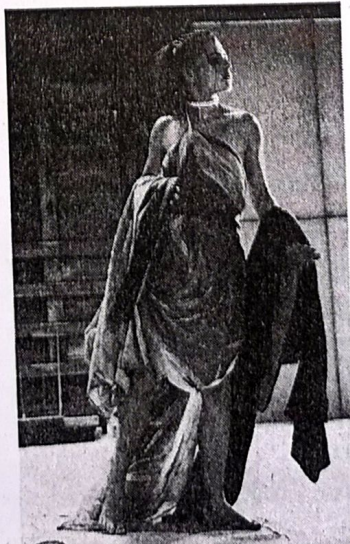
福原 哲郎



ムハエル・ロハンス



マレーガ・パルサー



アグネシカ・エドワーズ



桐生市美術館

国際交流パサージュフェスから

（廣田泰士法律事務所）
長、桐生市美術館



Passage Dance.

国際交流パサージュ・フェスティバル '94

The International Passage Festival

ベンヤミンの天使

yu rin kan

IN 有 鄰 館

— 次世代芸術運動の新しい潮流と国際交流プログラム —

